

おいしさと健康

Glico

第100期  
事業報告書

平成16年4月1日▶平成17年3月31日



江崎グリコ株式会社

# おいしさと健康

おいしさの感動を  
健康の喜びを  
生命の輝きを  
Glicoは、  
ハート・ヘルス・ライフの  
フィールドで  
いきいきとした  
生活づくりに貢献します。



## もくじ

株主の皆様へ	3	新製品のご紹介	12
部門別の状況(連結)	4	グリコニュース	16
業績の推移(連結)	6	会社の概要	17
主な関係会社	6	主な事業所	17
株式の状況	7	役員	18
連結決算の状況	8	株主メモ	19
単独決算の状況	10		

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

当社の第100期事業報告書をお届けするにあたり、ひとことごあいさつ申し上げます。

当連結会計年度は、企業収益の改善とそれに伴う設備投資の拡大、アメリカ及び中国を中心とした輸出の増加などにより景気回復の兆しが見られました。しかし、依然として雇用情勢は厳しく、個人消費の伸びは一進一退を繰り返し、特に昨秋以降は厳しい状況が続きました。このような市場環境に対応するため、食品関係の競合各社は新製品開発やコスト競争力の強化にしのぎを削り、激しい競争を展開しております。その中で、冷菓業界は猛暑の影響もあり前期を上回る市況となりましたが、上期は順調だったハム・ソーセージ等の畜産加工品業界も下期に入り厳しい状況に転じ、菓子、乳製品及びカレー等の加工食品業界はいずれも前期を下回る市況となりました。

このような状況の中で、当社は「グリコグループ行動規範」に基づき、信頼される企業であり続けることを事業展開の基本としながら、主力品の強化、新製品・系列品の発売、自動販売機や職場における専用ボックスでの販売( オフィスグリコ )等による販売拠点の拡大、さらに新規原料素材の事業化や各々の流通形態に適合した販売対策を積極的に展開いたしました。

その結果、当連結会計年度の売上高は2,614億7,900万円となり、前連結会計年度( 2,649億1,200万円 )に比べ1.3%の減収となりました。

一方、利益面につきましては、減販に伴う工場操業度の低下や一部の原料価格の上昇等により売上原価率はアップしました。また厳しい市場競争に対応するために広告費も増加させましたが、販売促進費は節減し、厚生

年金基金の代行返上により退職給付費用も減少しました。その結果、経常利益は67億5,700万円と前連結会計年度( 64億8,400万円 )に比べ2億7,200万円の増益となりました。さらに当期より固定資産の減損に係る会計基準の早期適用を実施したこともあり、約62億円を特別損失として計上し、一方、厚生年金基金の代行部分を国に返上したことによる代行返上益をはじめ約56億円を特別利益として計上いたしました。その結果、当期純利益は34億4,900万円となり、前連結会計年度( 25億1,100万円 )に比べ9億3,700万円の増益となりました。

なお、配当金につきましては、中間配当金と同じく1株につき5円といたしました。食品市場は前年を下回る市況が続いており、当社をとりまく経営環境は益々厳しくなってきておりますが、全社を挙げて業績の向上をはかり、株主の皆様のご期待におこたえする所存でございます。

今後とも、株主の皆様の一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年6月



取締役社長

二崎勝久

## 部門別の状況(連結)

### 菓子部門

727億3,200万円

(前年同期比5.6%の減収)



国内では、強力な再石灰化効果を持つ“ポスカム”の売上は順調に推移しましたが、“ポッキー”“アーモンドチョコレート”等のチョコレート製品や“ビスコ”が不振で前期を下回りました。海外では、タイ、中国(上海)を中心に順調に売上を伸ばしました。その結果、当連結会計年度の売上高は727億3,200万円となり、前連結会計年度(770億3,200万円)に比べ5.6%の減収となりました。

### 冷菓部門

496億9,300万円

(前年同期比3.8%の増収)



主力品の“アイスの実”“パピコ”、自動販売機の“セブンティーンアイス”の売上が順調に推移しました。また、ザクザクした食感が味わえる新製品“ザックス”も売上の伸長に寄与し、冷菓販売子会社も売上を伸ばしました。その結果、当連結会計年度の売上高は496億9,300万円となり、前連結会計年度(478億9,100万円)に比べ3.8%の増収となりました。

### 牛乳・乳製品部門

878億6,200万円

(前年同期比1.3%の減収)



“野菜足りてますか?LL125ml”“朝果汁ピンクグレープフルーツ&アップル300ml”等の清涼飲料の売上は好調に推移しましたが、“プッチンプリン”等の洋生菓子、“朝食シトラスヨーグルト”等のヨーグルト製品、乳幼児用粉ミルクが苦戦しました。その結果、売上高は878億6,200万円となり、前連結会計年度(889億8,500万円)に比べ1.3%の減収となりました。

## 食品部門

197億3,700万円  
(前年同期比1.6%の減収)



主力品の“ 熟カレー ” “ カレー職人 ” “ 炊き込み御膳 ”、新製品の“ ZEPINカレー ” “ スポーツ選手向け栄養補助食品の“ パワープロダクション ”の売上は順調に推移しましたが、“ ムースドリンク ” “ クレアおばさんのカレー ”等の売上は減少しました。その結果、当連結会計年度の売上高は197億3,700万円となり、前連結会計年度(200億5,800万円)に比べ1.6%の減収となりました。

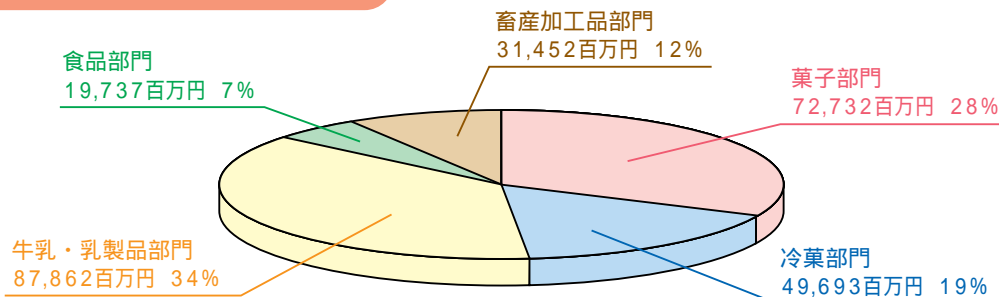
## 畜産加工品部門

314億5,200万円  
(前年同期比1.6%の増収)

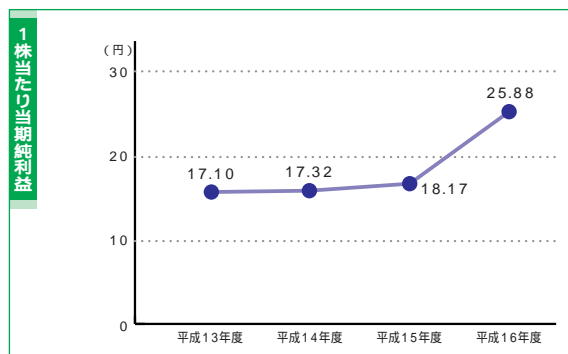
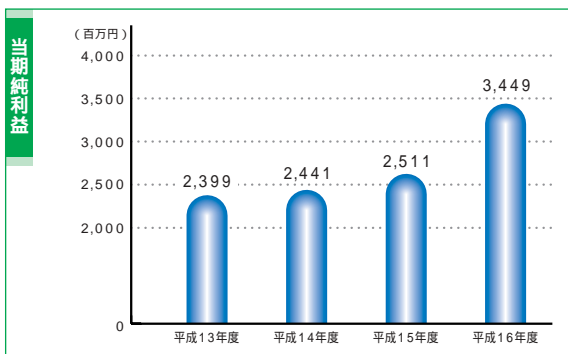
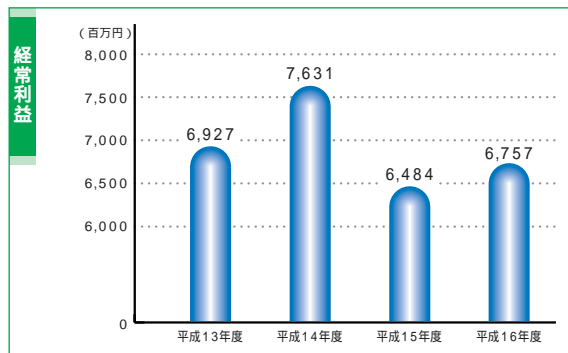
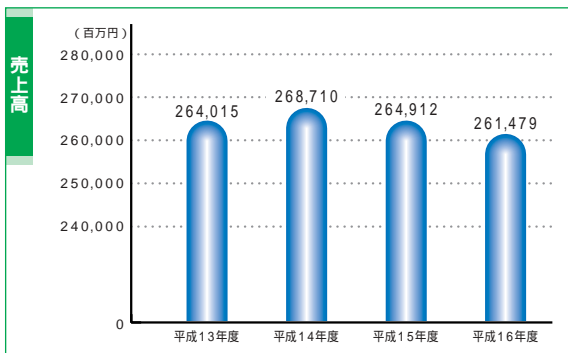


ハム・ソーセージ類では“ パリッと朝食ウインナー ” “ 上級あらびきウインナー ”等の基幹製品の売上が積極的な拡販等により伸長しました。また食品原料も小麦蛋白の“ A-グル ”がコンビニエンスストア商品での採用が増え、色素類も順調に推移しました。その結果、当連結会計年度の売上高は314億5,200万円となり、前連結会計年度(309億4,500万円)に比べ1.6%の増収となりました。

## 部門別売上高とその割合



## 業績の推移(連結)



## 主な関係会社

北海道グリコ株式会社  
 仙台グリコ株式会社  
 茨城グリコ株式会社  
 グリコ千葉アイスクリーム株式会社  
 東京グリコ株式会社  
 武生グリコ株式会社  
 三重グリコ株式会社  
 関西グリコ株式会社  
 神戸グリコ株式会社

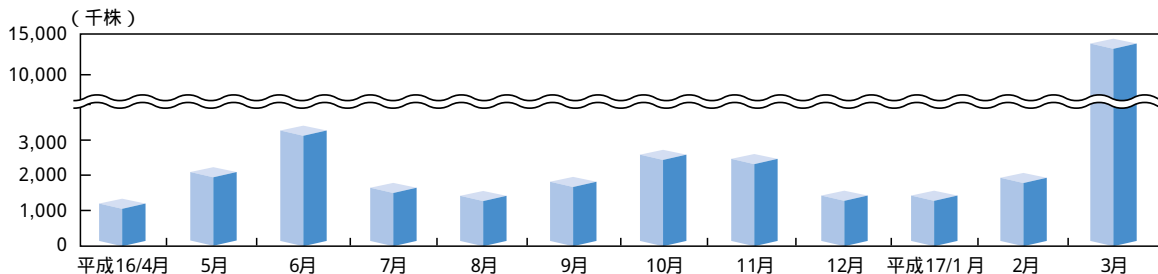
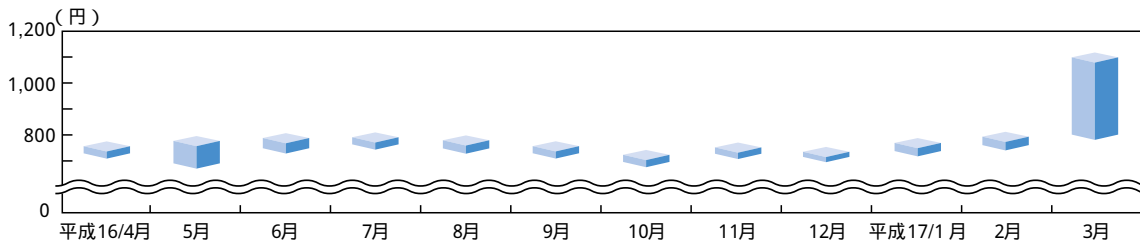
グリコ兵庫アイスクリーム株式会社  
 鳥取グリコ株式会社  
 九州グリコ株式会社  
 江栄情報システム株式会社  
 株式会社グリコ物流サービス  
 東北フローズン株式会社  
 関西フローズン株式会社  
 THAI GLICO CO., LTD.  
 GENERALE BISCUIT GLICO FRANCE S.A.

上海江崎格力高食品有限公司  
 グリコ乳業株式会社  
 グリコ栄養食品株式会社  
 アイクレオ株式会社

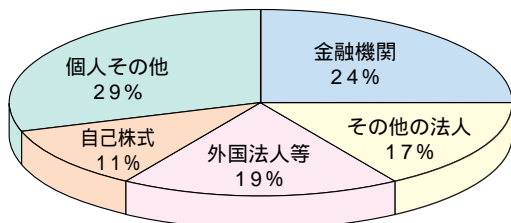
# 株式の状況

会社が発行する株式の総数 470,000,000株  
 発行済株式総数 144,860,138株  
 株主数 18,463名

## 株価および株式売買高の推移



## 所有者別株式数比率



## 大株主

氏名又は名称	持株数(千株)	出資比率(%)
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	11,749	8.1
掏泉商事株式会社	9,480	6.5
江崎正道	7,240	5.0
大同生命保険株式会社	7,000	4.8
佐賀県経済農業協同組合連合会	5,787	4.0
エムエルアイイーエフジー ノントリーティカस्टディー アカウント	5,000	3.5
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,051	2.8
日本生命保険相互会社	2,342	1.6
松下不動産株式会社	2,328	1.6
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,019	1.4

# 連結決算の状況

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

年度別 科目	前連結会計年度 (平成16年3月31日)	当連結会計年度 (平成17年3月31日)	年度別 科目	前連結会計年度 (平成16年3月31日)	当連結会計年度 (平成17年3月31日)
	金額	金額		金額	金額
<b>(資産の部)</b>			<b>(負債の部)</b>		
流動資産	76,318	73,274	流動負債	66,651	57,543
現金及び預金	8,500	11,301	支払手形及び買掛金	27,029	26,733
受取手形及び売掛金	28,027	27,366	短期借入金	10,219	3,284
有価証券	11,613	7,806	未払費用	21,068	21,679
たな卸資産	16,385	15,360	未払法人税等	1,190	963
前渡金	204	345	その他	7,143	4,883
前払費用	125	163	固定負債	27,424	21,352
短期貸付金	408	354	長期借入金	295	188
繰延税金資産	3,096	2,869	退職給付引当金	21,593	15,900
その他	8,065	7,888	役員退職慰労引当金	937	991
貸倒引当金	109	181	連結調整勘定	1,645	1,193
固定資産	133,294	123,256	その他	2,952	3,078
(有形固定資産)	79,998	71,318	負債合計	94,075	78,896
建物及び構築物	25,925	25,270	(少数株主持分)		
機械装置及び運搬具	27,908	26,465	少数株主持分	727	851
工具器具備品	3,677	3,429	<b>(資本の部)</b>		
土地	19,668	15,056	資本金	7,773	7,773
建設仮勘定	2,817	1,097	資本剰余金	7,414	7,415
(無形固定資産)	3,308	2,727	利益剰余金	108,164	110,205
(投資その他の資産)	49,987	49,209	その他有価証券評価差額金	1,907	1,960
投資有価証券	35,604	34,571	為替換算調整勘定	493	522
長期貸付金	1,478	1,345	自己株式	9,957	10,050
長期前払費用	194	313	資本合計	114,809	116,782
繰延税金資産	8,409	7,929	負債、少数株主持分 及び資本合計	209,612	196,531
その他	5,746	6,312			
貸倒引当金	1,446	1,262			
<b>資産合計</b>	<b>209,612</b>	<b>196,531</b>			



## 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	年度別	前連結会計期間 (15.4.1～16.3.31)	当連結会計期間 (16.4.1～17.3.31)
	金額	金額	金額
売上高		264,912	261,479
売上原価		149,265	148,710
売上総利益		115,646	112,768
販売費及び一般管理費		109,391	107,207
営業利益		6,255	5,561
営業外収益		2,335	2,477
(受取利息及び配当金)		(1,026)	(1,048)
(その他)		(1,309)	(1,428)
営業外費用		2,106	1,281
(支払利息)		(288)	(91)
(その他)		(1,818)	(1,189)
経常利益		6,484	6,757
特別利益		1	5,675
(厚生年金基金代行返上益)		(-)	(5,195)
(その他)		(1)	(480)
特別損失		1,557	6,221
(減損損失)		(-)	(6,001)
(関係会社整理損)		(369)	(219)
(貸倒引当金繰入額)		(995)	(-)
(その他)		(191)	(-)
税金等調整前当期純利益		4,928	6,211
法人税、住民税及び事業税		2,254	1,932
法人税等調整額		2	670
少数株主利益		165	158
当期純利益		2,511	3,449

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	期別	前連結会計期間 (15.4.1～16.3.31)	当連結会計期間 (16.4.1～17.3.31)
	金額	金額	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前当期純利益		4,928	6,211
減価償却費		10,497	10,533
減損損失		-	6,001
連結調整勘定償却額		122	451
退職給付引当金の増減額		783	5,562
役員退職慰労引当金の増減額		23	55
貸倒引当金の増減額		993	112
受取利息及び受取配当金		1,026	1,048
支払利息		288	91
為替差損益		180	18
固定資産除却損		1,315	523
売上債権の増減額		1,769	640
たな卸資産の増減額		151	1,014
仕入債務の増減額		1,451	116
役員賞与の支払額		107	114
その他		1,321	303
小計		16,206	18,182
法人税等の支払額		3,099	2,306
営業活動によるキャッシュ・フロー		13,107	15,876
投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の預入による支出		607	1,283
定期預金の払戻による収入		393	707
有価証券の取得による支出		5,801	505
有価証券の売却等による収入		13,246	6,008
投資有価証券の取得による支出		16,271	4,650
投資有価証券の売却等による収入		12,426	4,963
有形固定資産の取得による支出		9,921	9,823
有形固定資産の売却による収入		164	291
貸付けによる支出		756	674
貸付金の回収による収入		727	659
利息及び配当金の受取額		981	1,057
その他		1,137	113
投資活動によるキャッシュ・フロー		6,556	3,363
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の増減額		6,255	5,439
長期借入れによる収入		2	0
長期借入金の返済による支出		286	1,582
社債の償還による支出		14,999	-
利息及び配当金の支払額		1,620	1,388
少数株主への配当金の支払額		15	23
自己株式の取得による支出		4,738	106
その他		15	15
財務活動によるキャッシュ・フロー		15,386	8,523
現金及び現金同等物に係る換算差額		79	16
現金及び現金同等物の増減額		8,914	4,006
現金及び現金同等物の期首残高		24,593	15,679
連結除外に伴う現金及び現金同等物の期首残高の増減額		0	1
現金及び現金同等物の期末残高		15,679	19,684

# 単独決算の状況

貸借対照表

(単位:百万円)

期別 科目	前期 (平成16年3月31日)	当期 (平成17年3月31日)	期別 科目	前期 (平成16年3月31日)	当期 (平成17年3月31日)
	金額	金額		金額	金額
<b>(資産の部)</b>			<b>(負債の部)</b>		
流動資産	51,721	48,023	流動負債	54,090	48,253
現金及び預金	6,010	8,839	支払手形	662	93
受取手形	1,481	1,824	買掛金	13,356	13,783
売掛金	13,425	12,317	短期借入金	8,000	2,000
有価証券	11,613	7,806	未払金	2,258	1,047
製品	5,410	4,897	未払費用	13,222	12,953
原材料	2,758	2,020	未払法人税等	38	-
その他のたな卸資産	314	347	預り金	13,837	16,797
繰延税金資産	2,301	2,063	その他	2,715	1,578
短期貸付金	1,323	1,343	<b>固定負債</b>	<b>16,086</b>	<b>10,477</b>
信託受益権	1,899	3,171	退職給付引当金	14,189	8,552
未収入金	2,406	1,842	役員退職慰労引当金	525	535
その他	2,782	1,653	預り保証金	1,370	1,389
貸倒引当金	5	102	<b>負債合計</b>	<b>70,177</b>	<b>58,730</b>
固定資産	108,671	100,735	<b>(資本の部)</b>		
(有形固定資産)	39,278	33,186	資本金	7,773	7,773
建物及び構築物	6,364	6,244	資本剰余金	7,414	7,415
機械装置及び運搬具	14,180	13,453	資本準備金	7,413	7,413
工具器具備品	2,949	2,709	その他資本剰余金	0	2
土地	14,201	10,348	<b>利益剰余金</b>	<b>83,166</b>	<b>83,002</b>
建設仮勘定	1,582	429	利益準備金	1,943	1,943
(無形固定資産)	2,083	1,734	任意積立金	79,503	79,108
(投資その他の資産)	67,309	65,814	当期末処分利益	1,719	1,950
投資有価証券	35,030	34,008	(うち当期純利益)	( 888 )	( 1,177 )
関係会社株式	12,940	11,833	その他有価証券評価差額金	1,819	1,886
出資金	258	10	<b>自己株式</b>	<b>9,957</b>	<b>10,050</b>
関係会社出資金	808	808	<b>資本合計</b>	<b>90,215</b>	<b>90,028</b>
長期貸付金	9,834	10,581	<b>負債及び資本合計</b>	<b>160,393</b>	<b>148,759</b>
繰延税金資産	5,544	4,884			
その他	4,314	4,973			
貸倒引当金	1,422	1,285			
<b>資産合計</b>	<b>160,393</b>	<b>148,759</b>			

## 損益計算書

(単位:百万円)

科 目	年度別	
	前 期 (15.4.1 - 16.3.31)	当 期 (16.4.1 - 17.3.31)
	金 額	金 額
売上高	134,677	129,697
売上原価	66,360	64,998
売上総利益	68,317	64,698
販売費及び一般管理費	67,271	64,639
営業利益	1,046	59
営業外収益	3,292	3,136
(受取利息及び配当金)	(2,253)	(2,315)
(その他)	(1,039)	(820)
営業外費用	1,439	557
(支払利息)	(264)	(93)
(その他)	(1,174)	(463)
経常利益	2,899	2,637
特別利益	1	5,675
(厚生年金基金代行返上益)	(-)	(5,195)
(その他)	(1)	(480)
特別損失	1,546	6,208
(減損損失)	(-)	(4,968)
(関係会社整理損)	(359)	(205)
(貸倒引当金繰入額)	(995)	(-)
(その他)	(191)	(1,035)
税引前当期純利益	1,354	2,104
法人税、住民税及び事業税	393	76
法人税等調整額	72	851
当期純利益	888	1,177
前期繰越利益	1,485	1,420
中間配当金	654	647
当期末処分利益	1,719	1,950

## 利益処分

(単位:百万円)

科 目	年度別	
	前 期 (15.4.1 - 16.3.31)	当 期 (16.4.1 - 17.3.31)
	金 額	金 額
当期末処分利益	1,719	1,950
特別償却準備金取崩額	19	21
固定資産圧縮積立金取崩額	-	10
別途積立金取崩額	400	-
計	2,138	1,982
これを次のとおり処分します。		
利益配当金	647	647
	1株につき5円	1株につき5円
役員賞与金	45	40
(取締役賞与金)	(41)	(37)
(監査役賞与金)	(4)	(3)
固定資産圧縮積立金	-	-
特別償却準備金	25	0
次期繰越利益	1,420	1,294

## 菓子

菓子事業本部

### おいしくてつよくなる。

#### 「ビスコ」

ロングセラーブランドの「ビスコ」が新しくなりました。おなじみの赤箱「ビスコ」はビスケットの口どけを良くし、クリームを20%増量。また若い女性に人気の「ビスコ 小麦胚芽入りクラッカー」は、よりサクサクとした食感になりました。ビスコ坊やも23年振りにリフレッシュ。これからも、お客様に愛される商品として成長しつづけます。



### ポスカムに、薄型ハンディーボトル新登場。

#### 「ポスカム」

この春、デンタルガム「ポスカム」から、携帯性に優れたハンディーボトルタイプが新登場。さわやかな味わいの「フレッシュライム」とフルーティーな味わいの「フレッシュマスカット」の2種類です。いつでもどこでも気軽にポスカムチャージ。ポスカムが新しいデンタル習慣をご提案します。

### メンタルバランスチョコレートという新しい提案。

#### 「メンタルバランスチョコレート GABA」

アミノ酸の一種である、「GABA(ギャバ)」を多く含んだ『メンタルバランスチョコレート GABA』。この春、首都圏地区で新発売しました。GABAは人間の脳内に存在する神経伝達物質です。また、リラックスに役立つといわれているアミノ酸の一種です。ストレス社会といわれる現代、『GABA』でほっとひといきリラックスタイムをお楽しみください。



## 冷菓

## - 18 のチョコレート、「ブレイク」。 「ブレイク」



味・香り・食感にこだわった、チョコレートのようなチョコアイスが登場しました。その名も「ブレイク」。チョコレート原料をふんだんに使用し、本格的なチョコレートの味わいです。またチョコチップを10%使用しており、パリパリの食感が楽しめます。手軽に食べることのできる容器入りハンディアイスで、新しい食シーンをご提案します。

## 味わいにこだわって、さらに品質感アップ。

### 「ザックス」

人気のモナカアイス「ザックス」が、今年はさらにパワーアップ。モナカ部分は、新配合で味わいにもこだわりました。バニラアイスにもコクと豊かな風味をプラス。品質感とおいしさがアップしました。バニラとチョコとモナカの絶妙なバランスを、ぜひお楽しみください。



食品

食品事業本部

### 業界初、2層構造のカレールウ。

#### 「ZEPPIN〔カレー絶品〕」

「ZEPPIN〔カレー絶品〕」は、固形ルウの中にペーストを閉じ込めた2層構造のカレールウです。菓子の製造技術を応用した新製法で、原料本来の旨みとコクが味わえます。技術に裏づけされた、新しい付加価値を持ったカレールウ。コクがあって、しかもスパイスの香り豊かな専門店風のカレーを、ご家庭でもぜひお楽しみ下さい。



牛乳・乳製品

グリコ乳業株式会社

### カルシウム吸収力を強化。

#### 「カルシウムの多いミルク」 リニューアル

ご好評頂いているカルシウムの多いミルクをリニューアルしました。普通牛乳とほぼ同等の栄養価とおいしさに加え、今回新たにカルシウムの吸収を促進する「ミルクペプチド」を配合。カルシウムを手軽に摂りたい人や骨粗鬆症が気になる人にお勧めです。



## 牛乳・乳製品

グリコ乳業株式会社

### とろ～りとし、 なめらかクリーミーヨーグルト。

#### 「おいしいカスピ海」

あのカスピ海ヨーグルトで注目されているクレモリス乳酸菌を使用したプレーンヨーグルトです。カスピ海ヨーグルト独特のまるやかな「とろみ」を生かし、酸味が少なくクリーミーで食べやすい味に仕上がっています。



## 畜産加工品

グリコ栄養食品株式会社

### パスタの味を引き立てる 「棒切りベーコン」新登場!

#### 「パスタにうまい!! 棒切りベーコン」

「ブロックベーコンを切るのはめんどくさい」、「薄切りでは物足りない」そのようなお客様も満足の棒切りベーコンを発売しました。

まずは商品名の『パスタ』で使ってもらうことにより、見た目、味、食感の違いを実感!自然とメニューが広がります。

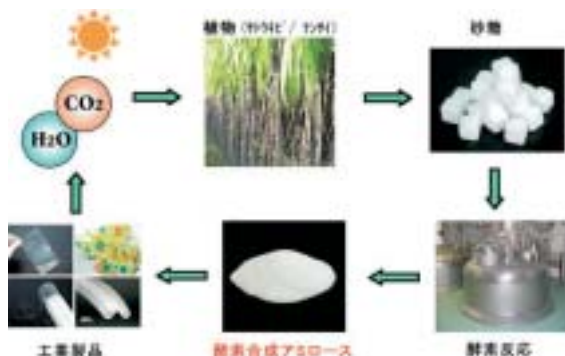


## 砂糖を原料とした『酵素合成アミロース』の 量産化技術開発に成功!

当社と三和澱粉工業株式会社（本社：奈良県橿原市、社長：森本 俊一）は、酵素反応により砂糖からアミロースを製造する技術を完成させ、優れた生分解性と高度な機能を併せ持つ新素材『酵素合成アミロース』の量産化に成功いたしました。

この技術は、再生産可能な植物由来成分である砂糖を原料としていることに加え、製造方法も酵素を利用した省エネルギー型反応であり、環境にやさしい次世代ポリマー製造技術であるといえます。また、優れた生分解性に加え、包接化合物形成能力、ゲル形成能力、フィルム形成能力を有する高機能素材であるという特長を有しており、これらの特長を組み合わせることで、幅広い産業分野への応用が可能です。

今後は高機能フィルムやナノテクノロジー分野の機能研究を継続して実用化を目指すとともに、各方面との幅広い共同研究を募り、様々な分野での用途開発を積極的に行っていく予定です。



酵素合成アミロースの製造と利用  
(環境にやさしい循環サイクル)



酵素合成アミロースから得られる偏光フィルム  
偏光フィルムをあらかじめ取り除いた電子手帳に、  
酵素合成アミロースから作成した偏光フィルムを重ねたもの。)



## 会社の概要

平成17年3月31日現在

商号 江崎グリコ株式会社  
創立年月日 大正11年2月11日  
資本金 7,773,681,654円  
営業品目 菓子・食料品の製造および売買。飲食店の経営。  
従業員数 1,216名  
本社所在地 〒555-8502 大阪市西淀川区歌島四丁目6番5号  
ホームページ <http://www.glico.co.jp>



## 主な事業所

● **本社**  
〒555-8502  
大阪市西淀川区歌島四丁目6番5号  
電話( 06 )6477-8352

● **中部統括支店**  
〒461-0025  
名古屋市東区徳川一丁目901番地  
電話( 052 )932-0071

● **北海道統括支店**  
〒003-0807  
札幌市白石区菊水7条二丁目7番1号  
電話( 011 )812-6311

● **近畿統括支店**  
〒555-8502  
大阪市西淀川区歌島四丁目6番5号  
電話( 06 )6477-8470

● **東北統括支店**  
〒981-0912  
仙台市青葉区堤町一丁目1番2号  
電話( 022 )717-2821

● **中・四国統括支店**  
〒733-0003  
広島市西区三篠町三丁目6番28号  
電話( 082 )230-4111

● **首都圏統括支店**  
〒108-0023  
東京都港区芝浦四丁目16番23号  
電話( 03 )3798-0717

● **九州統括支店**  
〒812-0013  
福岡市博多区博多駅東三丁目13番28号  
電話( 092 )474-0331

# 役員

平成17年3月31日現在

代表取締役社長	江崎 勝久
常務取締役	穴穂 忠男（経理部長、関連事業担当）
常務取締役	黒野 成彦（環境管理責任者、広報部長兼新素材営業グループ長、経営企画室・お客様相談室担当）
常務取締役	大川畑 勝也（品質総括責任者、研究開発部門統括、総務人事部長、品質保証部・生物化学研究所・中央研究所担当）
取締役	江崎 正道
取締役	玄 洋二郎
取締役	原 光伴（菓子事業本部長）
取締役	菅原 眞治（営業統括、東京駐在、渉外部・オフィスグロコ推進部担当）
取締役	吉田 安矩（情報システム部長、ロジスティクス部担当）
取締役	深川 修二（食品事業本部長）
取締役	中川 宗和（広告部長兼マーケティング企画室長兼健康食品部長、グロコピア神戸担当）
取締役	門奈 俊夫（広域マーケティング部長兼菓子事業本部菓子営業部長）
取締役	金子 春義（製造部長、技術開発部・製造子会社担当）
取締役	森井 健一（冷菓事業本部長）
監査役	山崎 将史（常勤）
監査役	平野 和男
監査役	下地 民男
監査役	玉井 英二
監査役	太智 幸夫

（注）1 平成16年6月29日開催の第99回定時株主総会において、新たに森井健一氏が取締役に、玉井英二、太智幸夫の両氏が監査役に選任され、それぞれ就任いたしました。

なお、同日の定時株主総会終結の時をもって、任期満了により太智幸夫氏は取締役に、中村利夫氏は監査役に、それぞれ退任いたしました。

2 監査役のうち、平野和男、下地民男及び玉井英二の3氏は、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律第18条第1項に定める社外監査役であります。

## 株主メモ

決算期	3月31日
定時株主總會	6月下旬
基準日	3月31日 そのほか必要あるときは取締役会の決議によりあらかじめ公告して定める日
利益配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日
公告の方法	日本経済新聞ならびに大阪市において発行する産経新聞に掲載する。 ただし、貸借対照表および損益計算書に係る情報は「 <a href="http://www.glico.co.jp">http://www.glico.co.jp</a> 」 において提供する。
名義書換代理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社証券代行部
同取次所	住友信託銀行株式会社全国各支店

名義書換や住所変更、単元未満株式の買増制度 など、各種の手続きについては、もよりの住友信託銀行株式会社全国各支店または下記の同行証券代行部へお問合せいただくのが便利です。

### 単元未満株式の買増制度

単元未満株式(1,000株未満)をご所有の場合、その単元未満株式と併せて1単元の株式数(1,000株)となる株式について買増を請求することが出来ます。

郵便の場合

〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10  
住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先

住所変更等用紙のご請求 …………… ☎ 0120-175-417  
買増請求、その他のご照会 …………… ☎ 0120-176-417

インターネット  
ホームページURL

<http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

## 株主様ご優待

1,000株以上ご所有の株主様に、つぎの要領で、  
当社製品の詰め合わせを贈呈させていただいております。

贈呈時期 6月末頃と12月中旬頃にお送りいたします。

贈呈基準 3月31日現在および9月30日現在の株主様へ

1,000～1,999株 ……………市価 約 800円相当額製品

2,000～9,999株 ……………市価 約1,600円相当額製品

10,000株以上 ……………市価 約3,000円相当額製品



## 原点はいつも「グリコ」。

1921年、創業者の江崎利一が決して豊かとは言えなかった当時の食料事情において、子供たちの栄養状態の改善の一助になればと、牡蠣の煮汁に含まれているグリコーゲンを活用した初めての栄養菓子「グリコ」を創製いたしました。

この赤い箱の「グリコ」には、新発想のローラーによるハートのカタチ、ゴールインする人の姿をあしらった**独特のデザイン**や“一粒300メートル”の**有名なキャッチフレーズ**、「食べることで遊ぶことは子供の二大天職」という発想から生まれた**豆玩具**など、品質の追求のみに留まらず、メインユーザーである子供たちに最大限楽しんでもらえるように、独創的なアイデアをふんだんに盛り込んだ、創意工夫に溢れるものでした。

以来、わが社はその製品づくりに対する精神のもと、アーモンドチョコやポッキーチョコなど数々のロングセラー賞品を開発してまいりました。

その根底には原点である「グリコ」から変わることない一貫した商品づくりに対する思いが受け継がれているのです。

